

## 四国のツキノワグマを守れ！ —50年後に100頭プロジェクト—

〒921-8836  
石川県野々市市末松1-308  
(石川県立大学内)  
E-mail: info@japanbear.org  
http://www.japanbear.org/



ひろげる助成

1年目

調査研究



徳島で開催されたシンポジウムの様子

メディア露出	7回
シンポジウム参加者	130人
今年度計画の達成度	85%
活動の全体目標に対する達成度	30%

### 苦労した点と工夫した点

#### ■ 苦労した点

徳島で開催したシンポジウムでは、地元でのネットワークをもっていなかったため、開催場所の確保や広報で苦労した。

#### ■ 工夫した点

地元の大学生を主体とするNGO等の協力を得て、シンポジウムの運営のほか、一般向けのイベントを開催することができた。



#### 課題

四国に生息するツキノワグマは数十頭以下と推定される。しかし、生息数の増加は認められず、住民の保全意識が十分に高くはない。

#### 目標

- ①四国のツキノワグマの生息の現状が明らかになる。
- ②四国の人々のツキノワグマの保護への意識が向上する。

#### 活動内容と成果

本活動では、1. 四国のツキノワグマの現状把握、2. 四国に暮らす人々の意識、3. 現状を打開するための方法、4. 普及啓発の4つの活動を行う。

1では、これまで知られていないツキノワグマの生息場所を確認した。

2では、行政へのヒアリング等により、利害関係者マップ(初版)を作成した。

3では、2回の会議を開催すると共に、5名の活動担当者と役割を決定した。

4では、徳島でシンポジウムを開催し130名が参加した。またfacebook上で関連記事21本を公開し、612いいね(延べ数)をいただいた。



自動撮影カメラの設置調査の様子

#### 今後の展望

四国のツキノワグマの現状把握を進めるとともに、長期的な視点でツキノワグマ保全が地域住民にとって押しつけや不利益とならないあり方を模索し、さまざまな方法による四国のツキノワグマの保全対策を検討していきたい。